

幼稚園児を持つ主婦の家庭洋裁について (第1報)

本郷美枝 潮田美智子

(昭和54年9月29日受理)

On Home Sewings by Housewives Having Kindergartners (Part I)

Miye HONGO and Michiko SHIOTA

(Received September 29, 1979)

緒 言

現代は物資が豊富に出廻り、何でも簡単に入手できる感がある。服装についてみても、各種既製品が氾濫し、デザイン、サイズなども数多く、必要に応じて直ぐ購入し着用することができる。更にマスコミュニケーションの発達により、着捨て、はき捨てが当然の事のような錯覚にとらわれていることが全くないとは言えないのではないだろうか。家庭というもの種々の問題を生じながらも、核家族化や共働き家庭が増加している中で何時でも購入できることや、人手不足などの影響もあり、衣服に対するちょっとした工夫、手直し、つくろいなども行われていないことが多々あるように思える。一方では限りある資源は大切に、上手に活かそうと叫ばれていても、一度安易な物の考え方や楽な方法が習慣となってしまうと、健全な生活態度を維持するということは困難になってくるであろう。

この調査は、家庭の主婦が、どの程度にこれらの事柄を考え、家庭洋裁を行っているのか、その実態を把握し、今後の被服構成指導上の参考にしたい考えから、昭和45年より行っているものの一部である。急速に発展してゆく世相が、どのように家庭に反映し、家庭の主婦が行う家庭洋裁が、時の流れと共にどう歩んで行っているのか、10年後の昭和55年以降に予定している調査と比較検討したい考えである。今回は幼稚園の園児を持つ家庭の主婦の家庭洋裁についての実態および結果の一部を報告したいと思う。

ここにとりあげた家庭洋裁とは、つくろいものから、

婦人服、子供服などの洋裁全般とした。

調査方法

1. 調査時期：昭和47年11月
2. 調査対象：幼稚園の園児を持つ家庭の主婦の家庭洋裁についての調査対象は、東京都の私立幼稚園の園児の家庭の主婦である。
3. 実施方法：幼稚園の園児の家庭の主婦に調査用紙を配布し、解答を求めた。
4. 調査項目：次の項目について調査を行った。
 - a. 主婦の年齢について
 - b. 主婦の最終学歴について
 - c. 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について
 - d. 主婦の職業の有無について
 - e. 居住地域について
 - f. 家族構成について
 - g. 家計簿の記入について
 - h. 服飾などに関してヒントを得ている愛読雑誌について
 - i. 愛読雑誌のほかにヒントを得ているものについて
 - j. 婦人服、子供服などの新調の方法について
 - k. 家庭洋裁について
 1. 家庭洋裁について (1) する理由
 - m. 家庭洋裁について (2) その内容
 - n. 家庭洋裁で縫う洋服の種類について
5. 回収率：配布総数 300, 回収数 297 で平均回収率は 99.0%であった。

調査結果および考察

a. 主婦の年齢について

主婦の年齢については、表1に示す通りである。幼稚園の園児を持つ家庭の主婦の年齢は、25才～47才で、平均年齢は32.6才であり、20才代は51人17.2%，30才代が223人75.1%，40才代18人6.1%，無回答5人1.6%となっている。30才代が全体の過半数を占めている。

b. 主婦の最終学歴について

主婦の最終学歴については、表2に示す通りである。

表1 主婦の年齢について

年 齢 (才)	実 数 (人)	平 均 (%)
25	3	1.0
26	1	0.3
27	8	2.7
28	16	5.4
29	23	7.7
30	32	10.9
31	34	11.4
32	26	8.8
33	20	6.7
34	32	10.9
35	23	7.7
36	21	7.1
37	14	4.7
38	11	3.7
39	10	3.4
40	7	2.4
41	3	1.0
42	1	0.3
43	4	1.3
44	—	—
45	1	0.3
46	1	0.3
47	1	0.3
無 回 答	5	1.7

表2 主婦の最終学歴について

		実数(人)	平均(%)
1	尋 常 小 学 校 卒	1	0.3
2	高 等 小 学 校 卒	4	1.3
3	新 制 中 学 校 卒	51	17.2
4	高 等 学 校 卒	176	59.3
5	旧制高等女学校卒	12	4.0
6	専 門 学 校 卒	19	6.4
7	短 期 大 学 卒	18	6.1
8	大 学 卒	12	4.0
9	そ の 他	2	0.7
10	無 回 答	2	0.7

表3 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について

		実数 (人)	平均 (%)
1	受 け た	153	51.5
2	受けなかった	133	44.8
3	無 回 答	11	3.7

表4 主婦の職業の有無について

		実数 (人)	平均 (%)
1	あ る	47	15.8
2	な い	239	80.5
3	無 回 答	11	3.7

表5 居住地域について

		実数 (人)	平均 (%)
	練 馬 区	281	94.7
	板 橋 区	1	0.3
	中 野 区	1	0.3
	不 明	11	3.7
	無 回 答	3	1.0

高等学校卒 176 人 59.3% が一番多く、続いて新制中学卒 51 人 17.2% である。

c. 主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育について

主婦の最終学歴のほかに洋裁に関する専門教育については、表 3 に示す通りである。最終学歴のほかに洋裁の教育を専門的に受けたことのある主婦は 153 人 51.5% でその内 1 年～2 年勉強した、と答えた主婦は 115 人 75.2% である。

d. 主婦の職業の有無について

主婦の職業の有無については、表 4 に示す通りである。持っているとした主婦は、47 人 15.8%，持っていないとした主婦は 239 人 80.5% である。

表 7 家計簿の記入について

		実数（人）	平均（%）
1	つけている	150	50.5
2	つけていない	143	48.2
3	無 回 答	4	1.3

表 6 家族構成について

			実数（人）	平均（%）
男 0	女 2		1	0.3
男 1	女 2		17	5.7
男 1	女 3		39	13.1
男 1	女 4		7	2.4
男 1	女 5		1	0.3
男 2	女 1		17	5.7
男 2	女 2		75	25.3
男 2	女 3		23	7.7
男 2	女 4		8	2.7
男 3	女 1		47	15.8
男 3	女 2		18	6.1
男 3	女 3		14	4.7
男 3	女 4		4	1.4
男 4	女 1		8	2.7
男 4	女 2		5	1.7
男 4	女 3		2	0.7
男 5	女 2		4	1.4
男 5	女 3		1	0.3
男 5	女 4		1	0.3
男 6	女 4		1	0.3
男 9	女 3		2	0.7
無 回 答			2	0.7

表 8 服飾などに関してヒントを得ている
愛読雑誌について

			実数(人)	平均(%)
服飾専門誌	ミ	セ　　ス	68	17.5
	マ	ダ　　ム	40	10.3
	服	装	3	0.8
	装	苑	11	2.8
	ドレスメーカー		21	5.4
	ウ	ー　　マ　　ン	2	0.5
	ヴ	ォ　　ー　　グ	3	0.8
主婦向実用誌	婦　人　倶　楽　部		21	5.4
	主　婦　の　友		23	5.9
	暮　し　の　手　帳		5	1.3
	家　庭　画　報		7	1.8
	主　婦　と　生　活		15	3.9
	婦　人　生　活		9	2.3
	婦　人　画　報		2	0.5
	婦　人　公　論		3	0.8
その他	手　芸　の　友		1	0.3
	ア　ン　ア　ン		2	0.5
	マ　イ・ラ　イ　フ		2	0.5
	デ　リ　カ		1	0.3
無　　　回　　　答			115	29.6
不　　　　　明			34	8.8

（頻数による）

e. 居住地域について

居住地域については、表5に示す通りである。調査したのは私立幼稚園で、ほとんどが同地域から通園をしている。

f. 家族構成について

家族構成については、表6に示す通りである。

g. 家計簿の記入について

家計簿の記入については、表7に示す通りである。つけていると答えた主婦 150 人 50.5%，つけていないと答えた主婦 143 人 48.2%，無回答 4 人 1.3%である。

h. 服飾などに関してヒントを得ている愛読雑誌について

服飾などに関してヒントを得ている愛読雑誌については、表8に示す通りである。服飾専門誌の中では、ミセス 17.5%，マダム 10.3%，主婦向実用誌においては、主婦の友 5.9%，婦人倶楽部 5.4%，主婦と生活 3.9%などがあげられる。無回答が 29.6%と多かったが、家庭内の仕事に時間をとられ、落着いて本を読んでいられない、あるいは決めた購読雑誌がない為とも思われる。

i. 愛読雑誌のほかにヒントを得ているものについて

愛読雑誌のほかにヒントを得ているものについては、表9に示す通りである。中でも既製品を参考にする主婦が多く 32.6%もある。次に新聞の家庭欄 26.2%と高く、次がテレビの 15.2%である。

j. 婦人服、子供服などの新調の方法について

婦人服、子供服などの新調の方法については、表10に

表9 愛読雑誌の他にヒントを得ているものについて

		実数(人)	平均(%)
1	新聞の家庭欄	119	26.2
2	女性週刊誌	29	6.4
3	既製品を見る	148	32.6
4	子供に教わる	4	0.9
5	子供の教科書を見る	—	—
6	知人に聞く	31	6.8
7	テレビ	69	15.2
8	その他	11	2.4
9	無回答	43	9.5

(頻数による)

示す通りである。既製品を買うと答えた主婦が圧倒的に多い。次が自分で縫う、と回答している。既製品は、品質、縫製ともに良くなって来ているが、価格と家庭の被服費とのバランスを充分に考慮し、長く着用できるものを購入したいものである。

h. 家庭洋裁について

家庭洋裁については、表11に示す通りである。すると

表10 婦人服、子供服などの新調の方法について

		実数(人)	平均(%)
1	既製品を買う	274	55.5
2	洋裁店にたのむ	33	6.7
3	知人にたのむ	30	6.1
4	自分で縫う	84	17.0
5	家族の誰かが縫う	6	1.2
6	その時々で異なる	57	11.5
7	その他	6	1.2
8	無回答	4	0.8

(頻数による)

表11 家庭洋裁について

		実数(人)	平均(%)
	する	228	76.8
	しない	65	21.9
	無回答	4	1.3

表12 家庭洋裁について

(1) する理由

		実数(人)	平均(%)
1	できるから	59	19.4
2	経済的	89	29.3
3	体に合わせられる	53	17.5
4	個性が発揮できる	39	12.8
5	その他	25	8.2
6	無回答	39	12.8

(頻数による)

答えた主婦は、228人76.8%、しないと答えた主婦は、65人21.9%である。小さい子供を持っている主婦が時間を上手に利用して家庭洋裁をする事は努力のいる事と思う。

1. 家庭洋裁について (1) する理由

家庭洋裁について (1) する理由は、表12に示す通りである。家庭洋裁をすると答えた主婦は多く、228人、76.8%の結果である。経済的であるという理由が一番多く29.3%、次に、できるから59人19.4%、体に合わせられるから53人17.5%などである。

見た眼にどんなにすばらしく、良いものであっても、

表13 家庭洋裁について
(2) その内容

		実数(人)	平均(%)
1	洋 服	169	22.4
2	カ ー テ ン	161	21.3
3	ざ ぶ と ん	94	12.4
4	袋 物	88	11.7
5	つ く ろ い も の	159	21.0
6	既製品に手を加える	72	9.5
7	そ の 他	12	1.6
8	無 回 答	1	0.1

(頻数による)

表14 家庭洋裁で縫う洋服の種類について

		実数(人)	平均(%)
1	ス カ ー ト	191	26.7
2	ブ ラ ウ ス	93	13.0
3	ワンピース・ドレス	143	20.0
4	ス ー ツ	51	7.1
5	コ ー ト	41	5.8
6	子 供 服	185	25.9
7	そ の 他	10	1.4
8	無 回 答	1	0.1

(頻数による)

高価すぎれば、家計をあずかる主婦としては考えさせられると思われるし、せっかく良いと思われるものでも、身体に合わなければ何にもならない。

m. 家庭洋裁について (2) その内容

家庭洋裁について (2) その内容については、表13に示す通りである。これも家庭洋裁をすると答えた主婦、228人76.8%の結果である。洋服を縫う、22.4%、カーテンを縫う、21.3%、つくろいものをする、21.0%、ざぶとんを作る、12.4%、袋物、11.7%、既製品に手を加える9.5%などである。

n. 家庭洋裁で縫う洋服の種類について

家庭洋裁で縫う洋服の種類については、m, (2)の設問で洋服を縫うと答えた主婦169人22.4%について、どのような種類のものが縫われているかの調査結果を表14に示した。洋服の中でも特に多かったのがスカートで、26.7%、つぎに子供服25.9%であった。更に各項目をそれぞれ日常着、外出着に分けて調査したが、スカートは日常着60.2%、外出着21.5%、ブラウス日常着66.7%、外出着17.2%、ワンピース・ドレスでは日常着59.4%、外出着24.5%、スーツにおいては、日常着33.3%、外出着35.3%、子供服日常着59.5%、外出着24.3%などであり、全体に日常着が多く縫製されている。

要 約

幼稚園の園児を持つ家庭の主婦は、比較的若い世代であり、毎日の生活が多忙で余暇時間を生み出す余裕がないのではないか、と考えていたが、多くの主婦が家庭洋裁に関心をもち、それを生活の中に取り入れてゆこうとする姿勢が見られた。しかし、洋服を新調する場合、あるいは服飾に関するヒントを既製品に求めている主婦も多いので、既製品に対しても注目したい。

家庭で縫製する洋服の種類では、スカートについて子供服が多かったが、子供は成長も早く、活動的なので、華美なものなどを着せて不活発にさせておくよりも、その成長の時期や季節に合わせて惜しげなく着用できるものを作製したいものである。

家庭洋裁といっても、ただ縫製することに止まらず、材料を求める時点から、仕上がりまでの過程の中で、自分の持っている力を十分に発揮し、しかも経済的に、余暇の活用、あるいは親子の対話、愛情の育成、子供のしつけなど、と教育の面をも高められるよう配慮したいものである。

本郷美枝 潮田美智子

次報においては、家庭洋裁を生活の上に取り入れている 私立練馬幼稚園園長安蔵吉以先生、同園の諸先生および
主婦の、具体的な調査結果を報告したいと考えている。 お母さま方に、厚く御礼を申し上げます。
おわりにあたり、この調査にご協力をいただきました、